

会 議 録

会議の名称	行田市商業振興対策委員会
開催日時	平成 20 年 5 月 8 日 (木) 開会：午後 1 時 30 分・閉会：午後 3 時 00 分
開催場所	市役所 203 会議室
出席者(委員)氏名	東美智子、漆原金作、栗原二郎、小林友明、松本安夫、川辺秀夫 小川雅似、岡村勇光、井上光枝、岡田則之、加村和之、田沼智子 高鳥和子、杉田禮三
欠席者(委員)氏名	小川高弘、田代正人
事務局	藤間課長、柴崎主幹、青山主事
会議内容	当初予算の概要について 「行田市商工業振興のあり方」に係る意見募集の結果について(報告) 視察研修について その他
会議資料	(資料名・概要等) 別添のとおり
その他必要事項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
東議長	<p>開会の宣言（柴崎主幹）</p> <p>事務局自己紹介</p> <p>委員長あいさつ（東委員長）</p>
東議長	<p>（議事）</p>
事務局	<p>議題 当初予算の概要について事務局からの説明を求める。</p>
事務局	<p>資料に基づき、当初予算の概要について説明する。</p>
東議長	<p>この件について委員からの質問等を求める。</p>
小林委員	<p>長野工業団地進出企業への奨励金について、奨励金に 3 種類あるが、それぞれ金額はいくらでいつまで続くのか。</p>
事務局	<p>施設設置奨励金は計 6 社に対し 65,629 千円であり、3 年度に渡る奨励金です。緑地設置奨励金は計 3 社に対し 6,168 千円であり、1 回限りの奨励金です。雇用促進奨励金は計 2 社に対し 1,500 千円であり、こちらも 1 回限りの奨励金となっています。</p>
松本委員	<p>施設の見直しは市長の公約の中にもあったが、勤労会館についてはどうなっているのか。利用が少ないように見えるが。</p>
事務局	<p>昨年度の実績では、大ホールを中心に 2,500 人ほどの方にご利用いただいている。それを踏まえて検討を進めていきたい。</p>
松本委員	<p>現在、申込みを行うには商工観光課の窓口まで行かなければならない。勤労会館は長野公民館が近いのだから、そこで申込みを受け付けることはできないのか。</p>
事務局	<p>施設の方向性ととも検討して参ります。</p>
小川(雅)委員	<p>観光事業費の中に菊の普及・菊花展の開催の項目がある。こちらについては、例年通りのもとなるのか、あるいは新たな企画を考えているのか。</p>
事務局	<p>例年通りの内容で実施するもので、新たな企画はございません。</p>
小林委員	<p>「古代蓮」という名は他に上尾の原市沼にもあるようだ。古代蓮 = 行田というような P R をもっとすべきではないか。また、花</p>

<p>栗原委員</p>	<p>についての小さなパンフレットがあれば、委員のみなさんがそれぞれの立場で配布することもでき、当委員会の委員として行田のPRができると思う。</p> <p>3点ほどお伺いする。</p> <p>商店街地域資源活用事業助成金は改装費のみの助成なのか、運営費の助成も含まれているのか。</p> <p>知的財産セミナーはどのようなものか。知的財産を新たに生み出していくものなのか。</p> <p>B級ご当地グルメフェスティバル交付金はゴールデンウィークにソニックシティで実施したのものに対する交付金なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>商店街地域資源活用事業助成金については、改装費の他運営費も含めた全体に対する助成です。</p> <p>知的財産セミナーは県および中小企業振興公社等と共催で講演会を開催するもので、知的財産に対する啓発を行うものです。</p> <p>11月ごろに市独自で開催を予定している事業に対する交付金です。</p>
<p>漆原委員</p>	<p>商工センター管理費のその他で計上しているプロジェクターリース料や備品購入費といったものは、指定管理料に含まれるのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>指定管理者には、市が所有する施設・備品の管理や利用許可等を委託していることから、市が用意する必要があります。</p>
<p>漆原委員</p>	<p>観光案内所や古代蓮の里は指定管理者に任せているのではないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>観光案内所は市が直に運営しています。古代蓮の里については、施設の管理等は指定管理制度を導入していますが、今回計上したものは、開花期間に観光案内のために臨時職員を雇用するためのものです。</p>
<p>漆原委員</p>	<p>蓮フォーラムの開催も指定管理者ではないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市が独自に実施します。</p>

漆原委員	蓮まつり補助金はいくらか。
事務局	1,000 千円です。
高鳥委員	さきたま火祭りには多くの露天商が出店しているが、蓮まつりでは見かけられない。これはなぜなのか。
事務局	蓮まつりは、地区のまつりという位置づけになっています。露天商に関しては蓮まつり実行委員会の方針ではないでしょうか。
松本委員	観光事業費は前年とほぼ変わりがないが、昨年度策定された観光振興基本計画をふまえた予算措置であるのか。
事務局	ふまえたものです。
小川(雅)委員	7月からインターハイが開催され、行田市にも多くの人が来訪すると予想されるが、担当部署と何か連携はとっているのか。
事務局	今のところ、こちらに連携の打診はありません。
小川(雅)委員	こちらから働きかけることはないのか。
事務局	パンフレット等で行田のPRを行いたいとは考えております。
東議長	インターハイは高校生が主役であり、スタッフ等も高校生にお願いし、高校生を前面に押し出した大会になる予定で、PRを表立って行うのは難しいかもしれないが、会合等の中でこのことについて提言していきたい。
東議長	議題 「行田市商工業振興のあり方」に係る意見募集の結果について事務局より報告を求める。
事務局	別添資料の内容をホームページ等で公表し、意見募集を実施したが、1件も意見をいただかなかった旨報告する。
東議長	報告案件であるので、引き続き議題 視察研修について、事務局からの説明を求める。
事務局	前回の実施年度である平成18年度に意見交換の末、中止となった経緯を説明し、今年度以降は定期的な視察は行わず、不定期で実施する形としたい旨説明する。
東議長	この件について委員からの意見等を求める。

松本委員	各地で先進的な取り組みを行っているところはある。そういったところを取り上げて視察することも必要なのではないか。
小林委員	私はまだ視察に行ったことがないが、過去に視察をされた方から参考意見をお聞かせいただきたい。
井上委員	小田原の商店街に行ったことがある。高校生によるチャレンジショップの事例などを聞くことができた。
高鳥委員	小田原の視察は良かったと思う。ただ、同じことが行田で実践できるかは疑問に思う。音頭をとる人がいない。
東議長	小田原の視察は私もよかったと感じている。さて、意見が一通り出たが、事務局の提案どおり当会の視察研修は定期的には行わず、必要なときに開催する形でのよろしいか。 (異議なしの声)
東議長	では当委員会の視察研修は不定期での開催とすることとする。
東議長	議題 その他について、事務局から何かあるか。
事務局	特にございません。
東議長	では委員からは何かあるか。
杉田委員	前々回の会議で、市内の迷い道を活用することについてご提案申し上げた。難しいとは思いますが、ご検討いただきたい。また、鉄剣マラソンの際、菓子組合で作成したマップとお汁粉の無料配布を行った。去年を上回る 900 杯分を配布し、行田の P R に役立ったと思う。 一通り意見が出たので議長退座。 閉会の宣言(柴崎主幹)